

SUPRPRO/8000 ユーザーマニュアル(スタンドアローン モード)

Superpro8000 をご購入頂きありがとうございます。Superpro8000 はPC に接続して使用するPC ホストモードとPC から切り離して使用できるスタンドアローンモードの2種類の使用方法があります。

PC ホストモードについてはXELTEK マニュアルWindows 版をご参照ください。

概要

- 8MB のフラッシュROM を12 秒で書き込む高速タイプ
- 本体にMCU を内蔵しキーパッド、16x2 の表示用LCD が付属
- アルゴリズムプログラム領域に4MB のフラッシュROM、ユーザーデータ用に4MB のフラッシュROM を装備(最大128MB オプション)
- 個別に動作するPIN ドライバー付48Pin ZIF ソケット標準装備
- 各種デバイスのアルゴリズムプログラムはPC よりプリンターポートを経由してダウンロード
- 1.8V の低電圧デバイスをサポート
- 書き込み前にIC とソケット間の接触チェック機能
- 全自動書き込み機能、正常なIC 挿入チェック後の書き込み開始
- バッチ処理コマンドの編集可能

最初に

パラレルケーブルをPC に接続せずに電源を入れるとスタンドアローンモードになります。

ケーブルを接続して本体の電源を入れるとPC ホストモードになります。

スタンドアローンモードで使用するには最初にPC に接続してご使用になるデバイスのアルゴリズムプログラムを本体にダウンロードする必要があります。

アルゴリズムプログラム・ダウンロードの手順

1. パラレルケーブルをPC と本体に接続し電源を入れます。
2. PC のXELTEK プログラムを立ち上げます。
3. メニュー画面のLIBRARY よりREAD を選択します。SP8000 よりすでにダウンロードされている内容を読み込みます。
4. 不要なアルゴリズムをDELETE で消去します。
5. 必要なアルゴリズムをADD しOK を押します。
6. TRANSFER をおしてSP8000 にアルゴリズムをダウンロードします。
7. 本体の電源を切ってケーブルをコネクターから抜きます。
8. ケーブルを接続していない状態でSP8000 の電源を入れます。

MENUE

ENTER SELECTとSUB-MENU の決定

EXIT 上位メニューへ移動

矢印(上下) SELECT の移動、エディットバッファ使用時カーソル位置の移動

矢印(左右) エディットバッファ使用時アドレス又はデータのスクロール

RUN

実際の使用時に重要なコマンドです。以下の動作はこのメニューから開始します。

- AUTO** SETTING-EDIT AUTO で設定が必要です。
- PROGRAM** エディットバッファのデータをIC に書き込みます。
- READ** 本体のFlashRom内 エディットバッファにIC のデータを読み込みます。
- BLANK CHECK** IC の内容が空であるかチェックします
- VERIFY** IC に書き込んだデータとエディットバッファの内容を比較します。一致すれば
SUCCESS が表示されます。
- ERASE** PLD FLASH 等のIC のデータを消去します。デバイスの機能によります。
- SECURE** IC のBit データをロックします。IC によってこの機能が無い事があります。

SELECT DEVICE

先に行いました、アルゴリズムプログラムがホストPC よりダウンロードの手順が完了していることが必要です。

最初に矢印(上下)キーを使用してデバイスのメーカー名を決めます。次に品番を選択します。内蔵しているFlash メモリーの容量を越えるデバイスを選択した場合はメッセージが表示され動作いたしません。その場合はオプションのメモリーを追加します。

BUFFER

バッファのエディット

内容の確認又は編集をします。メモリー製品又はMCU 製品以外動作しません。

ENTER を押すと最初のアドレス及びデータが表示されます。矢印(左右)を使用して編集する箇所又は表示する箇所にカーソルを移動してください。

矢印(上下)を使用してアドレス又はデータを変更します。

CHECK SUM

エディットバッファのCHECK SUM の値を計算します。

SETTING

SET MODULE

マスター モジュールの選択と使用するモジュールの設定

EDIT AUTO

AUTO (RUN のメニュー内)で使用するシーケンスを決めます。

CHIP ADDRESS

ENTER キーと矢印(上下)を使用してデバイスのスタートアドレスを決めます。ENTERキーと矢印(上下)を使用してデバイスのエンドアドレスを決めます。

デフォルトのアドレスは個々のデバイスを選択した時点で決まります。

BUFFER ADDRESS

ENTER キーと矢印(上下)を使用してエディットバッファのスタートアドレスを決めます。ENTER キーを押

して矢印(上下)を使用してバッファのエンドアドレスを決めます。デフォルトでは選択したデバイスにより設定されています。

AUTO CHECK SUM

ENTER キーと矢印(上下)を使用してENABLE とDISABLE を選択します。

ENABLE を選択した場合READ を実行した後にCHECKSUM は計算されます。

INSERION CHECK

ENTER キーと矢印(上下)を使ってENABLE とDISABLE を切り替えます。

ENABLEを選択した場合、書き込みの動作前に正しくIC がソケットに挿入されているかチェックします。正しく挿入されていない場合IGNORE(無視)又はEXIT(終了)を選択します。

BEEPER

ベルを鳴らす、鳴らさないの選択をします。

AUTO RUN

ENTER キーと矢印(上下)を使用してENABLE 又はDISABLE を選択します。

ENABLE を選択した場合、プログラマーはソケットとIC の接触を確認しIC の挿入が確認できれば自動的に書き込みが開始します。多量にIC を書き込む場合に使用します。

ENCRYPTION

ENTER キーと矢印(上下)を使用し暗号化テーブルを編集します。

一部のMCU のみが対象です。